

研究に関する情報公開について

研究課題	Patient-specific instrumentation 支援下 medial pivot 型人工膝関節置換術における「疼痛がない状態」かつ「良好な屈曲可動域」を同時に達成する予測因子の検討
研究機関の名称	社会医療法人友志会 石橋総合病院整形外科
研究責任者	高橋 恒存
研究対象者	2018 年 10 月から 2024 年 10 月に medial pivot 型人工膝関節置換術を受けた方を対象としております。
研究の目的・意義	人工膝関節置換術（TKA）は、変形性膝関節症などに対して痛みを軽減し、日常生活動作を改善するために広く行われている有効な治療です。しかし、術後も痛みが残る、あるいは膝の曲がり十分に回復しないために満足が得られない方が一定数いることが知られています。 本研究の目的は、Patient-specific instrumentation (PSI) 支援下 medial pivot型TKA（MP-TKA）を受けた患者様について、術後1年時点で「疼痛がない状態（NRS$\leq$1.0）」と「良好な膝屈曲可動域（膝屈曲$\geq$120°）」を同時に達成できるかどうかに関連する因子を明らかにすることです。本研究の結果を周知することで、MP-TKAにおける術前説明や評価、治療方針の検討に役立て、より良い術後成績につなげることを目指します。
研究方法	対象の患者様の診療録から情報を抽出し、統計解析を行います。本研究では患者様から新たな情報の提供は頂きません。
研究期間	石橋総合病院倫理委員会の承認を受けてから 2027 年 5 月末まで。
研究に使用する情報	患者様の診療録より以下の情報を使用します。 年齢、性別、身長、体重、BMI、患側、術前・術後の膝関節可動域、術前・術後の疼痛、膝関節の前後不安定性、手術時間、骨切り厚（術前計画と実際）、インプラントサイズ（術前計画と実際）
研究に関する情報公開の方法	対象の方でご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の資料などを閲覧または入手することが出来ますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人が特定できないように、研究責任者が病院 ID、氏名、生年月日の情報を削除し、個人の特定できる情報は新たな符合に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者がリハビリテーション部門内で厳重に保管します。新たな符合と個人を特定できる対応表を同様に厳重に保管します。また研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。
研究組織名称	社会医療法人友志会 石橋総合病院整形外科 高橋恒存（研究責任者）
問い合わせ先	【研究責任者】 社会医療法人友志会 石橋総合病院整形外科 高橋 恒存 〒329-0596

研究に関する情報公開について

	栃木県下野市下古山 1-15-4
	電話：0285-53-1134